

# Market Watching

発表日: 2020年11月30日(月)

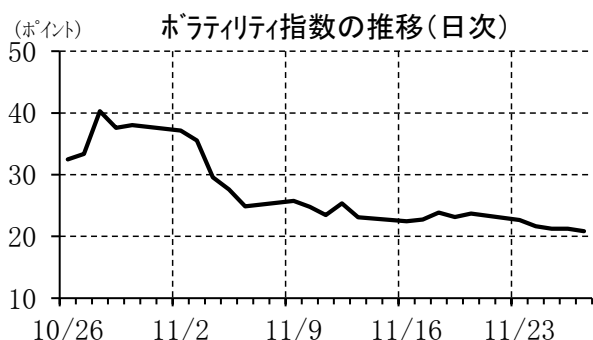
感染再加速の影響を受ける経済統計に市場は直面(マーケットウィークリー)  
～遠くの楽観より近々のリスクを市場は警戒するか～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部  
取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL: 03-5221-4521)

## 【先週の市場動向】

### 先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
11月23日(月)	ユーロ: PMI製造業景気指数(11月)	53.6	53.3	54.8	ポイント
	PMIサービス業景気指数(11月)	41.3	42.0	46.9	ポイント
	米国: PMI製造業景気指数(11月)	56.7	52.5	53.4	ポイント
	PMIサービス業景気指数(11月)	57.7	56.0	56.9	ポイント
11月24日(火)	ドイツ: ifo景気動向指数(11月)	90.7	90.3	92.7	ポイント
	米国: S&Pプロパティ価格指数・20都市(9月)	+6.6%	+4.8%	+5.2%	前年比
	米国: FHFA住宅価格指数(9月)	+1.7%	+0.5%	+1.5%	前月比
	米国: 消費者信頼感指数(11月)	96.1	98.0	100.9	ポイント
11月25日(水)	米国: 実質GDP改定値(7-9月期)	+33.1%	+33.1%	+33.1%	前期比年率
	米国: 製造業受注(10月)・耐久財	+1.3%	+1.3%	+1.9%	前月比
	・非国防資本財(除航空機)	+0.7%	+0.5%	+1.0%	前月比
	米国: 新規失業保険申請件数(11/21終了週)	778	733	742	千件
	米国: 個人所得支出統計(10月)・実質個人消費	+0.5%	+0.2%	+1.2%	前月比
	・PCEデフレ率	+1.2%	+1.4%	+1.4%	前年比
米国: 新築住宅販売件数(10月)	99.9	96.8	95.9	万件	
11月26日(木)	—				
11月27日(金)	日本: 都区部消費者物価指数(11月)・総合	▲0.7%	▲0.5%	▲0.3%	前年比
	・除生鮮食品	▲0.7%	▲0.6%	▲0.5%	前年比
	インド: 実質GDP(7-9月期)	▲7.5%	▲7.5%	▲23.9%	前年比
11月28日(土)	—				
11月29日(日)	—				



## 主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	0.837	+1.3	+0.7	▲147.4	0.855	0.757	0.735
日本	0.025	+1.5	+0.0	+14.0	0.024	0.025	0.006
ドイツ	-0.588	▲0.5	+2.7	▲21.6	-0.581	-0.530	-0.489
豪州	0.901	+3.9	+9.9	▲11.7	0.854	0.860	0.880
株価							
NYダウ	29910.37	+2.2	+8.9	+6.2	28702	28251	26136
日経平均	26644.71	+4.4	+13.5	+13.7	24826	23821	22024
ユーロSTOXX50	3527.79	+1.7	+14.9	▲5.0	3312	3278	3148
上海総合	3408.31	+0.9	+4.7	+17.4	3325	3315	3112
為替相場							
ドル/円	104.09	+0.2	▲0.3	▲5.0	104.45	105.22	106.58
ユーロ/円	124.48	+1.1	+1.1	+3.3	123.39	124.20	121.51
豪ドル/円	76.89	+1.4	+3.3	+3.6	75.59	75.87	73.04
ユーロ/ドル	1.1963	+0.9	+1.4	+8.8	1.181	1.180	1.140
商品市況							
WTI	45.53	+7.3	+15.1	▲21.6	40.60	40.55	35.65
金	1781.9	▲4.8	▲6.6	+22.6	1872	1905	1801

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (11/23~11/27) の金融市場は、新型コロナウイルスの感染沈静化後の景気拡大に対する期待に支えられる格好で、株式市場は総じて堅調に推移した。米国では、バイデン政権の財務長官候補としてイエレン前FRB議長の名前が挙がったことで、バイデン政権下での経済政策運営に対する期待値が大きく高まった。こうしたなか、米NYダウは終値ベースで3万ドル台に乗せた (11/24)。

今週のマーケットは、米雇用統計など市場の注目度の高い経済指標が多く発表され、足元の感染拡大が景気に及ぼす影響を市場が意識しやすい環境となる。米国では、感染の拡大が続く地域で経済活動への制限を強化する動きが続いている。こうした動きは非製造業の景況感の押し下げ要因となる。これまでのところ、米企業景況感は順調に回復しており、他国に比べるとその差は圧倒的だ。先に発表された11月のPMI非製造業景況指数は前月からさらに上昇したが、今週発表されるISMでは2ヶ月連続で前月から低下すると見込まれる。また、11月分のフィラデルフィアやNY連銀の製造業景況指数は前月から低下しており、ISM製造業景況指数も前月からの低下が見込まれている。週末に発表される雇用統計に関しては、失業保険申請件数を見ると調査対象週を含めて直近2週間は上昇していることを勘案すれば、前月まで続いている雇用の回復ペースの鈍化傾向がより強まっていることを示す結果になると予想される。総じて、経済指標は景気回復の勢いが衰えていることを示す公算が大きく、市場はそれでも余裕を持って受け止められるかどうか微妙なところだ。

## 【今週のマーケット環境】

## 今週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
11月30日(月)	日本：商業動態統計・小売業販売額(10月)	★	+6.2%	▲8.7%	前年比
	日本：鉱工業生産指数(10月)	★★★	+2.2%	+3.9%	前月比
	日本：住宅着工戸数(10月)	★	82.0	81.5	万戸
	中国：PMI製造業景気指数(11月)	★★★	51.5	51.4	ポイント
	米国：シカゴ地区PMI(11月)	★	59.2	61.1	ポイント
12月1日(火)	日本：労働力調査・失業率(10月)	★★	3.1%	3.0%	
	日本：一般職業紹介状況・有効求人倍率(10月)	★	1.03倍	1.03倍	
	日本：法人企業統計(7-9月)・設備投資(除ソフト) ・経常利益	★★★	▲3.8%	▲10.4%	前年比
		★★★	—	▲46.6%	前年比
	日本：新車販売台数(11月)・乗用車	★	—	+34.5%	前年比
	中国：財新PMI製造業景気指数(11月)	★★★	53.5	53.6	ポイント
	豪州：金融政策委員会	★	0.10%	0.10%	RBA政策金利誘導目標
	ユーロ：消費者物価指数速報値(11月)・総合 ・コア	★	▲0.2%	▲0.3%	前年比
		★	+0.2%	+0.2%	前年比
		★★★	57.5	59.3	ポイント
	★	1,610	1,620	万台	
12月2日(水)	日本：消費動向調査・消費者態度指数(11月)	★	33.0	33.6	ポイント
	豪州：実質GDP(7-9月期)		▲4.5%	▲6.3%	前年比
	ユーロ：失業率(10月)	★	8.4%	8.3%	
	米国：ADP雇用統計(11月)	★★★	+500	+365	前月差、千人
12月3日(木)	ユーロ：小売売上高(10月)	★	+0.5%	▲2.0%	前月比
	ブラジル：実質GDP(7-9月期)		+0.5%	▲11.4%	前年比
	米国：新規失業保険申請件数(11/28終了週)	★★	765	778	千件
	米国：ISM非製造業景気指数(11月)	★★★	56.2	56.6	ポイント
12月4日(金)	インド：金融政策委員会	★	4.00%	4.00%	レポート
	米国：雇用統計(11月)・非農業就業者数 ・失業率 ・時間あたり賃金	★★★	+500	+638	前月差、千人
		★★★	6.8%	6.9%	
		★★	+4.2%	+4.5%	前年比
	米国：貿易収支(10月)		▲650	▲639	億ドル
12月5日(土)	—				
12月6日(日)	—				

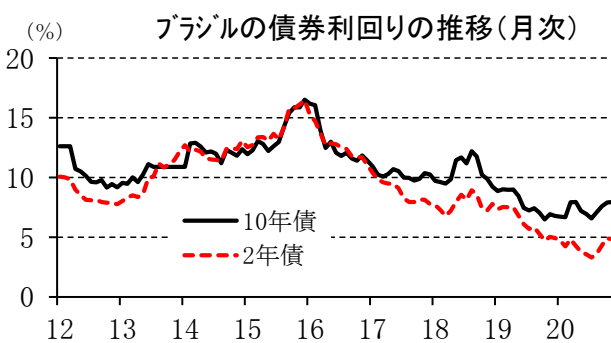
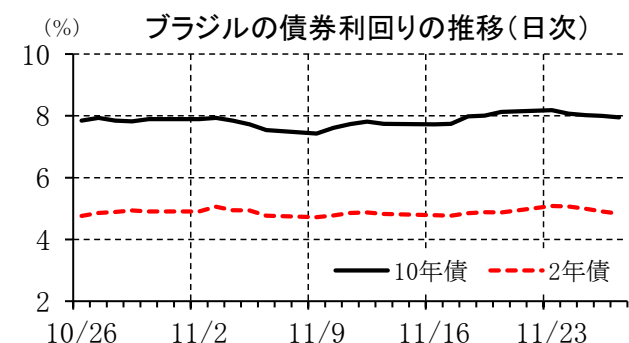
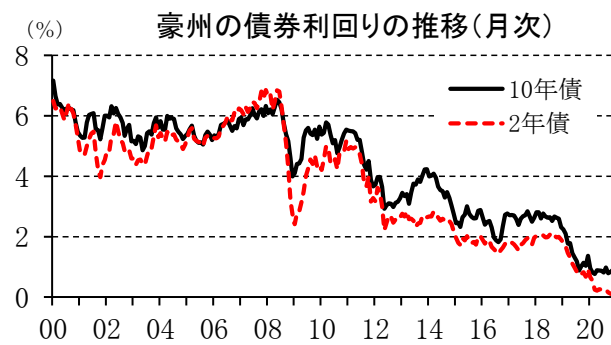
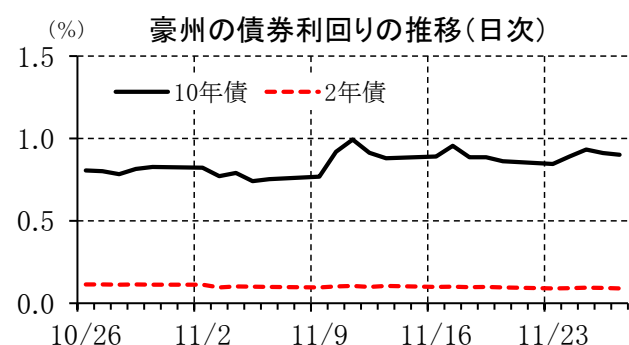
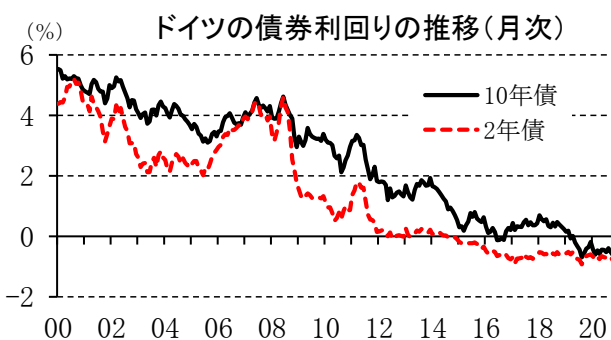
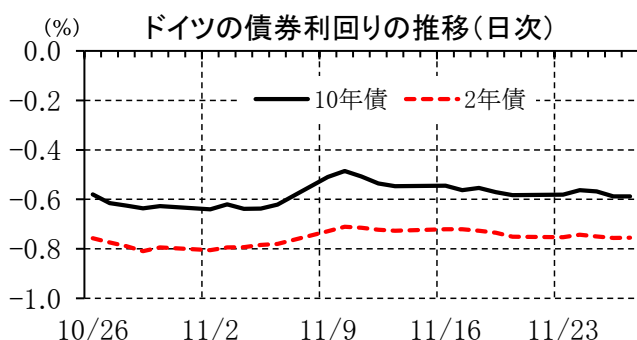
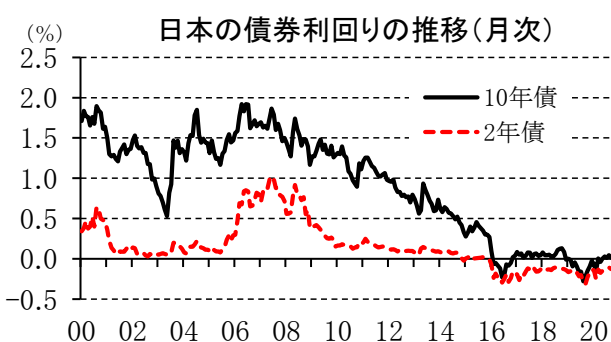
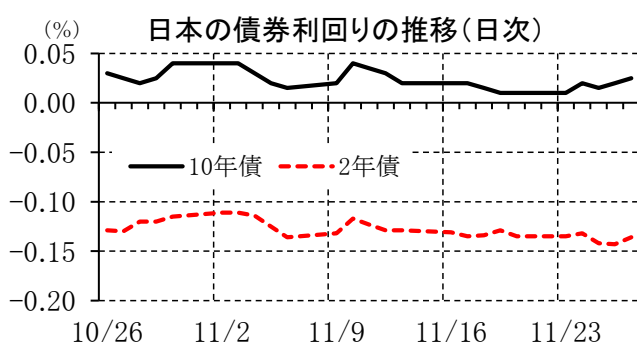
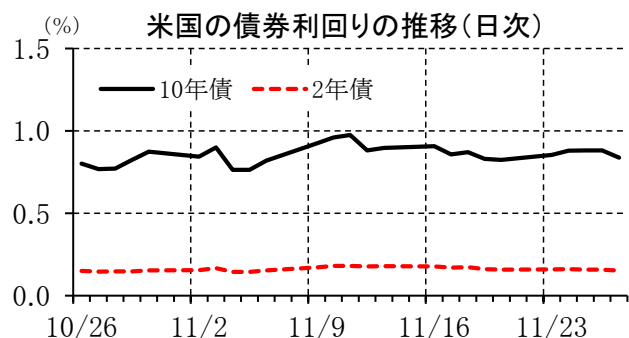
(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

## その他の注目イベント・材料

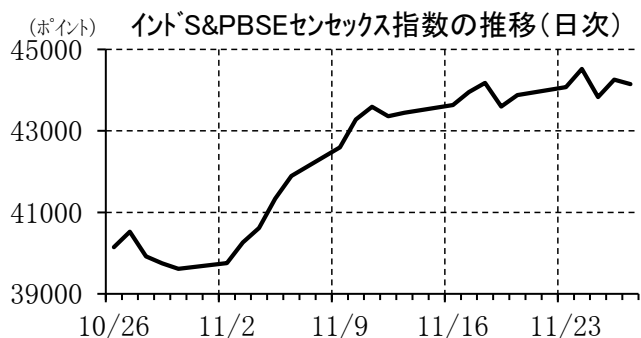
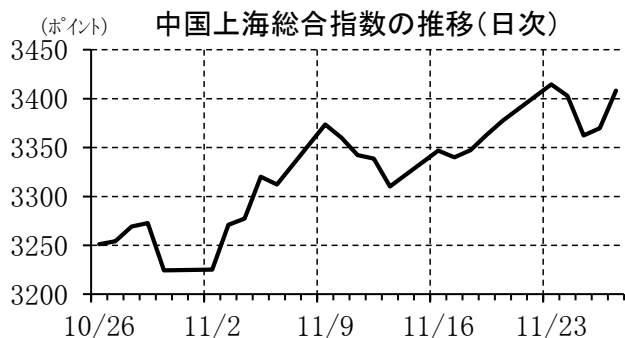
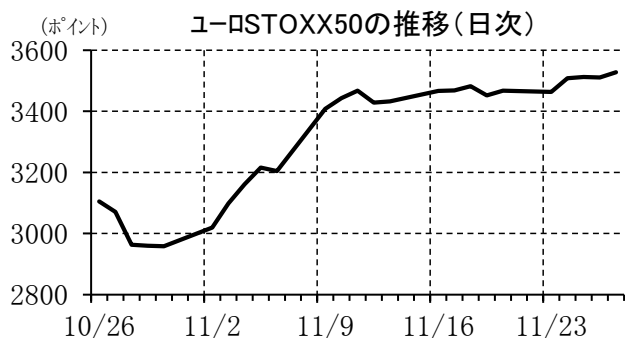
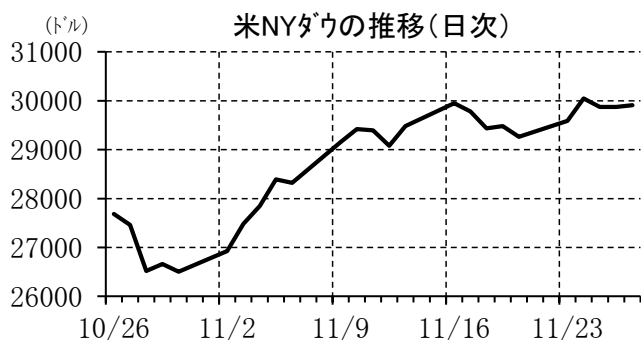
発表日	イベント	注目度	備考
11月30日(月)	ユーロ：ラガルト ECB総裁講演	★★★	
	OPEC総会	★★	
12月1日(火)	ユーロ：ラガルト ECB総裁講演	★	
	米国：財務長官・FRB議長議会証言	★★★	
	OECD経済見通し	★	
	OPECプラス会合	★★	
12月2日(水)	日本：雨宮日銀副総裁講演	★	
	米国：財務長官・FRB議長議会証言	★★	
	米国：ヘッジファンド	★★★	
12月3日(木)	日本：鈴木日銀審議委員講演		
12月4日(金)	米国：ボウマンFRB理事講演		
12月5日(土)	—		
12月6日(日)	—		

(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

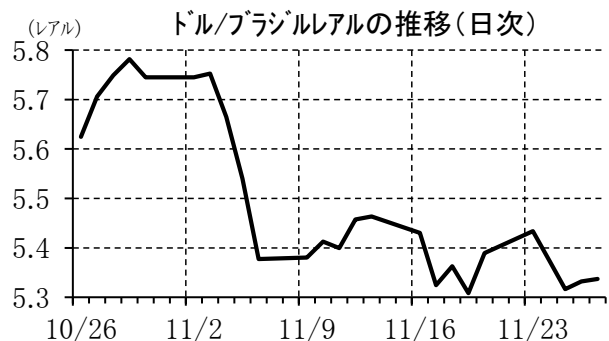
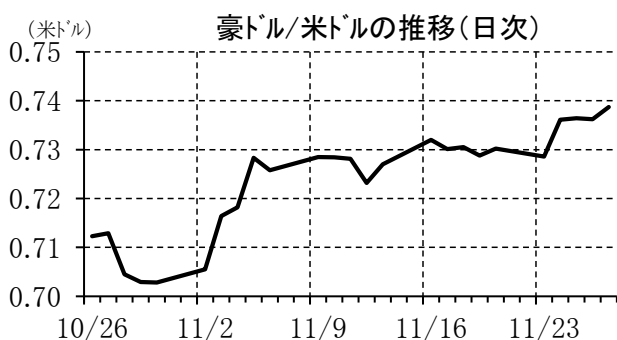
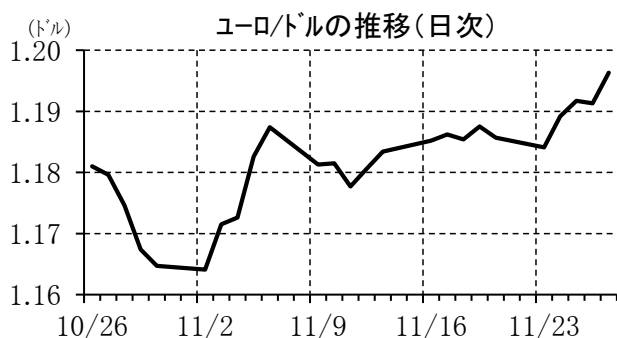
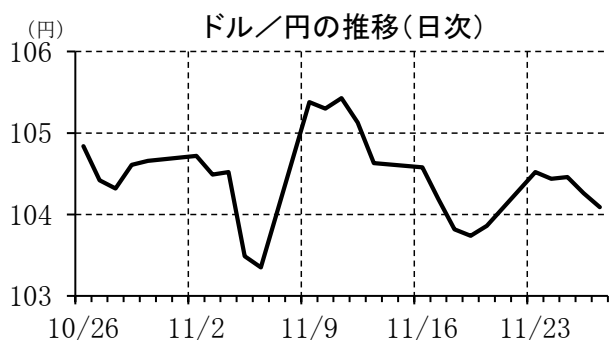
## 【債券利回り】



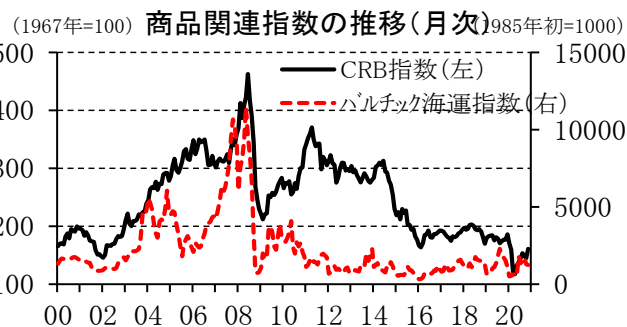
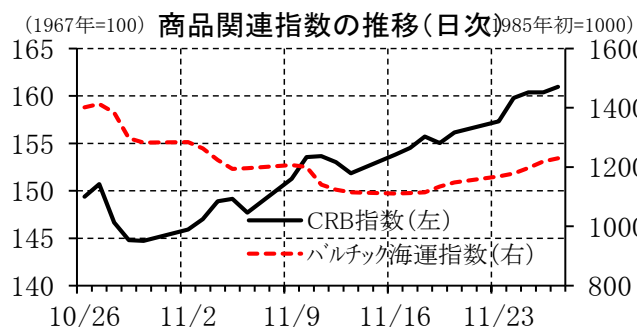
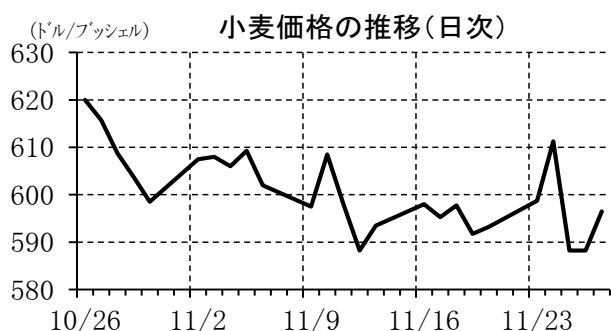
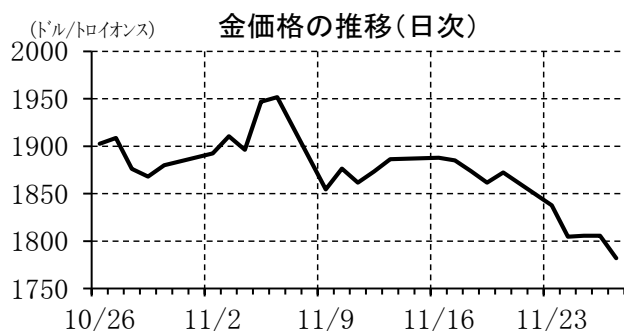
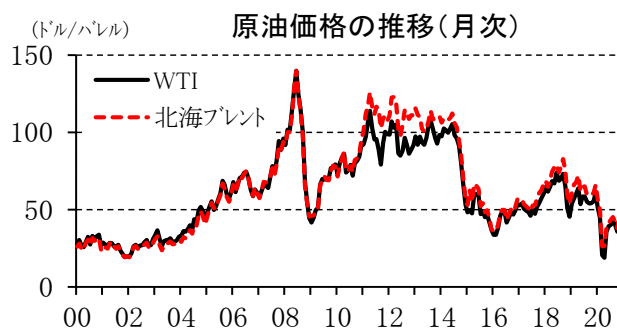
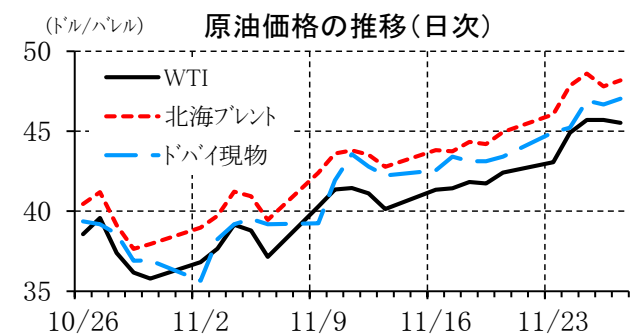
## 【株価指数】



## 【為替相場】



## 【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。